

## 令和元年5月定例教育委員会会議録

- 1. 開催日時            令和元年5月31日（金） 9時30分～11時10分
- 2. 開催場所           日野町役場 201会議室
- 3. 出席委員           今宿綾子教育長、山田めぐみ教育長職務代理者  
高橋政宏委員、谷 信代委員、西村吉弘委員
- 4. 出席事務局員  
                          教育次長   ：望主 昭久  
                          学校教育課：参事 山添 美実（欠席）      参事 柴田 和英  
                          生涯学習課：課長 吉澤 増穂      参事 加納 治夫  
                          図書館   ：館長 高浪 郁子  
                          子ども支援課：課長 宇田 達夫（欠席）

今宿 教育長	<p>ただ今から日野町教育委員会定例会を開会します。</p> <p>(教育長あいさつ)</p> <p>それでは、本日の定例会議を議事日程に基づき進行します。</p> <p>日程3の前回委員会の議事録の報告については、開催通知に同封いたしました議事録のとおりであり、委員各位においてご覧いただき、異なるところがあれば事務局までご連絡をお願いします。</p> <p>~~~~~</p> <p><b>日程4 事業経過報告 質疑</b></p>
今宿 教育長	<p>ただいまの経過報告につきまして、ご質問などございませんでしょうか。</p>
西村 委員	<p>先ほど教育長のご報告の中で、10日間の休みが終わって学校がスタートしたとおっしゃいました。いつもこの時期、不登校が話題に上ります。昨日もNHKの総合テレビでかなり長い時間の番組でしたけれども、不登校にかかわる番組が放送されていました。日野町の場合、そのあたりの数字的なものは、だいたいどうなんですかね。連休明けの状態というのは、去年と比較して、今年の状態はどうなんですか、一言で言って。あまり詳しい数字までは結構ですけども、状況だけ承ればと思います。</p>

<p>今宿 教育長</p>	<p>まず4月は、3月ぐらいまで増えてくるのですが、4月というのはやはり子どもにとってもものすごくパワーをくれるのか、今までなかなか行きにくいなという子どもさんも、新しいクラス、新しい担任の先生になって動き出してくれて、非常に4月の報告は少なかったのです。</p> <p>5月は、また数字は5月のまとまったものが来ますけれども、気になっていたのを聞かせてもらっていたのですけれども、例年とそうは変わらない。急激に今増えているというよりも、むしろ一人ひとりの子どもさん、全休、1か月ずっとお休みというようなケースも中学校等ではあるのですけれども、その場合の対応の仕方についても十分協議されるということと、その不登校の子どもさんと何らかの機関がつながっているということがあります。そのケースと、その子の抱えている背景、そして取り組みの方法というのが見えてくる中で、できているので、それが一番大きな安心材料だなと思っています。やっぱりなかなか難しいケースもありますが、私は、そういう取り組みの中で改善してきているのかなと思っています。</p> <p>それと、適応指導教室を準備しているところですが、また福祉課の方で、最終は学歴を終えた、いわゆる大人になった人の引きこもりとか、そういうことにも対応できるようなことにしたいということなんですが、当面は福祉の対応と教育委員会の対応をしっかりと連携させながら、準備委員会とか一緒になってしましようとかいう感じで今話しているところです。</p> <p>今までとどう変わりますかというのは、子どもの様子はそんなに変わらないのですけれども、ちょっと取り組みが、さらにプランが持っているのかなという感じがしています。</p>
<p>西村 委員</p>	<p>新聞の連載とか、昨夜のNHKのわりあい長時間にわたる番組も見せてもらっておりまして、いろいろな取り組み、現状分析からいけば、NHKは端的な部分をかなり打ち出せていたと思うのですけれども、一人ひとりの子どもの状況が違うという現実には、どのように対応していくべきかという課題ですね。それに対する対応の仕方はいろいろ試行錯誤もあると思うのですが、それらが総合的にうまく機能していけばいいなと思いつつ見せてもらいました。不登校については、あまり数字的なことにこだわってしまいますと、個々の子どもの状況が見失われるよう気がしますので、不登校の人数の変化だけに目を奪われることのないよう、地道な対応をお願いしたいと思います。</p> <p>それから、ちょっと角度が変わって申し訳ございません。前回の定例</p>

	<p>会の時の最後に、文部科学省作成の放射線副読本をお借りして拝見しました。私、読ませていただいて、この中身は理解させていただいた上で、ちょっと不足に思う部分があります。ここに書かれていることが1つと、書かれてないことが1つです。</p> <p>書かれているのは12ページの福島事故に関して、第1原発の廃炉作業に関わっては、やはり原子炉へ水を入れて冷やすことで安定した状態が保たれているということが、さっと脚注として書かれているのですが、冷やし続けるとかいうのはいつまでとか、非常に見通しの立たない一面があるわけですね。この辺の深刻さの部分では、ちょっと言葉足らずではないかなと思ったのが1つです。</p> <p>それから、これは書かれてない部分ですけども、使用済み核燃料の廃棄の問題というのは、大きなテーマとして未解決であろうと私は思うのです。ガラスで固く封じ込めて、地下300m以上の深さに数万年保存しようということになるわけですね。こういうことは本当に現実に行えるかどうかということも含めて、やはり未解決の問題が大きすぎるということ、もう少し何か、書けないこともあるかもわかりませんが、その辺のところはやはり、深刻な問題という一面があるということも少し補足されていけばいいなと思った次第です。</p>
今宿 教育長	ありがとうございます。本当にそれだけの限られた中ですのでね。
西村 委員	基本的なことも書かれておりますし、自然界における放射能の状態とか、非常に詳しく書かれていて、私は改めて勉強させていただきました。
今宿 教育長	<p>大震災のあと、放射能のことがニュースに出されたとしても、本当に全国の子どもたちは「放射能って何やろう？ どういうもんやろう？」ということ、なかなか十分に学ぶ機会も少なかったと思いますし、それが例えば「うつる」とか、食品がどうだとか、いろいろな風評被害のようなものになったりとか、避難してきた子どもたちへの差別とか、いわれなき差別というものが現実にあったという中で、まずしっかり放射能とはどういうものなんだということで、知るということが大事だということ、1回目出されたものはまだまだ十分なものでなく、また改訂が出て、それもやはりいろんな声を集めながら、もう少しよいものが出てくるのかなと思っておりますので、人権学習と絡めながら、その学校のどこかでは取り上げるというような教育計画を入れていきたいと思</p>

<p>高橋 委員</p>	<p>ます。</p> <p>先ほど西村委員さんをご発言されましたけれど、関連しますけれど、昨日でしたか、不登校のテレビがありましたね。私は、不登校をはじめとして様々な課題を持っている子どもから高校生、高校を卒業して社会人になろうとしている子ども・生徒に関わりかけているのですけれど、その中で中心的に学習支援をしています。そこの市の方針としては、困難な課題を持っている子どもたちのベースはやはり家庭にあって、そこに支援をしていくということで、全面的に、日野町でいうと福祉課が担っているような構造で、国からのモデル事業を始められたそうで現在に至っていて、その一端を私も担っているわけですが、これまでの考え方でと、不登校は学校の先生、保護者、カウンセラーさんが中心でやってきたと思います。私も現場にいることはそういうふうに来てきましたけれども、今私が現に関わっているところという、福祉サイドからベースで、例えば学習支援などをいくつかの地域をつくって毎週1回の開催があるわけですが、そういう動きは日野町とは違うなど個人的には思っているのですが、そのあたりの雰囲気は日野町ではどうですか、お聞きしたいと思います。</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>まずは、子どもさんはどういう状況なのかということをしっかり見ていこうということから始めています。適応指導教室をつくるにあたって、そんなことから見ていく中で、そのアセスメントがしっかりできているということが重要だと思いますけれども、本当に様々な要因・ケースがありますので、はっきりしている場合、例えば友だちから言われたことが嫌だとか、そこを解決するのだったらわりには早いのですが、なんでだろう、なぜ行かないんだろうとか、おうちの方も一緒になって悩んでいるというケースもあるのですが、そのところを教師とかお家の方だけだったので、先ほど言われたようにカウンセラーとかいろいろな専門的にいろいろなケースを見ておられる方のご意見を聞きながら、そこに今回福祉と教育で見て行かないといけないケースもあるから、一緒に見ていきましょうということをお話しています。</p> <p>そういう中で持っている情報をいろいろ出していきながら、その子どもさんの状況をしっかり個々に見ていくということが大事かなと思っていますので、今この時期はなかなか行けないけれども、どこかで超えた時に、「あの時、ああいう方たちに関わってもらったな」ということが必要かなと思います。放っておかれるというようなことではなくて、</p>

	<p>すぐ、次の日の答えが出るかどうかはわかりませんが、どうしたらいいかなと一緒に悩んで関わるというようなものは続けていかないといけないかなと思いますし、そういうふうな方向性でみんなで考えていっているところです。</p>
<p>今宿 教育長</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>西村 委員</p>	<p>もう1つすみません。今年度の教育方針の確定版というのは、ホームページには掲載していないのですね。印刷でちょうどできますか。</p>
<p>望主 次長</p>	<p>用意しておきます。</p> <p>~~~~~</p>
<p>日程5 議第23号 日野町社会教育委員兼ねて日野町公民館運営審議会委員の委嘱について</p>	
<p>質疑なし</p> <p>~~~~~</p>	
<p>日程5 議第24号 日野町立学校および日野町立幼稚園評議員会評議員の委嘱について</p>	
<p>今宿 教育長</p>	<p>ただいま提案説明をさせていただきました。ご質問等ございましたらお出しいただきたいと思います。</p>
<p>高橋 委員</p>	<p>町立学校および町立幼稚園評議員委嘱の分については、平成26年の規則で規定していると思うのですが、実際はそれぞれの校園で校園長が適切な人材をお願いしていると。そしてこういう形でずっと以前からの教育委員会の規則があって、委嘱状というのがこの方々に出されていたのでしょうか。</p>
<p>柴田 参事</p>	<p>教育委員会の委嘱としてはということですね。委嘱の中では教育委員会が委嘱するというふうになっているのですが、従来はこの評議委員会の方で、委嘱という形でこういう提案をさせていただくということはない</p>

<p>高橋 委員</p>	<p>かったわけですが、規則上、教育委員会が委嘱するというふうになっておりますので、今年度初めてこういった形で提案をさせていただいたところでございます。</p> <p>そうですね。何となく印象として、町の方で委嘱状を出されるのは、今日の議題をいただいていたので、初めてかなと、何も調べずに来たのですが、つまり何が言いたいかというと、校園で評議員さんを誰にしてもらおうとかという時に、公平公正と言いますか、そういうことをされると思いますが、一方で手を挙げて、私を評議員にしてくれと、そういう事例に、私は日野町ではないところでそういう事例があったのですよ。戸惑ったことがあるのです。それはこの会議が始まる前に雑談をしていましたけれど、こういう時代ですから、様々な考え方がある中で、入ってもらうことはいいのですが、力関係が生じて、公平公正な校園の運営に支障をきたすような場合は、やはり遠慮してもらおうとか、言葉は悪いですけど、それに近いような形にしたこともあるわけです。</p> <p>こういう形で町の教育委員会で委嘱状を出されるというのは、原案はもちろん校園からあがってくると思うのですが、そういうこともあるということ、私だけの経験かもわかりませんが、お知りおきくださいとか、知っていただきたいなと思っています。</p> <p>こんなことを言うといけないことですが、思想信条の自由に関して、ではないですけども、結果的に校園の校長等の「こういうふうに進めていきたい」というところにブレーキをかけるような人が評議員になると、非常に困るし、そこに町から委嘱状が出ると、重みが大きくなると思うのです。そのあたり、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>望主 次長</p>	<p>初めてということで、申し訳ございません。教育委員会もやはり、法律に基づいてすることを見落としている部分がございますので、その辺検証しながら、日々、事務者がやっておりますので、今回、いつもしていることが本を読んでみると欠落しているなということでしたので、委嘱をするのに教育委員会にかけないのはどうかという中で、今回提案させていただいたところでございます。</p> <p>また、先ほどおっしゃったとおり、各校園では複数の評議員さんがいただきますので、そこは学校・園から選んでいただいた方を教育委員会は委嘱するというところでございますし、今の話でも複数の方が協議をして、学校・園の運営に携わっていただいておりますので、その中で適</p>

	<p>正にしていだきたいなと思っておりますので、今回につきましては、今までのべきことができなかつたということ、改めて思いながら提案させていただいたところでございますので、よろしく願いいたします。</p>
高橋 委員	<p>ありがとうございました。</p>
谷 委員	<p>この学校園の評議員の任期は？</p>
望主 次長	<p>1年です。年度末まででございます。</p>
谷 委員	<p>どのぐらいの頻度で会議とか、集まっていらっしゃるのでしょうか。</p>
望主 次長	<p>だいたい学期ごとぐらいだと聞いております。</p>
今宿 教育長	<p>それから、入学式とか運動会とか、音楽会とか、そうした行事にご案内させてもらうこともあるかなと思います。 よろしいでしょうか。</p> <p>~~~~~</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>日程5 議第25号 工事請負契約について(日野町立日野小学校トイレ改修工事)</p> </div>
今宿 教育長	<p>提案説明させていただきました。ご質問、ご意見ございましたら、お願いします。</p>
西村 委員	<p>契約金額につきましては、当初予算をかなり下回っているとか、収まっているということですね。予算からすると。わかりました。</p>
望主 次長	<p>予算的には5,260万円の予算でございました。入札をしていただいた中で、落札輪していただいたわけです。</p>
今宿 教育長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>~~~~~</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>日程6 今後の予定について</p> </div>

今宿 教育長	<p>今後の予定を説明させていただきました。ご質問ございましたらお願いいたします。</p>
高橋 委員	<p>ちょっと教えてください。14 ページですが、日野町子育て合同研究会、昔は日野町同和教育研究会、私の新採の時に立ち上がったと思うのですが、それからずっと、名前は変わってきていますが、こうなっています。この事業につきましては、県の人権教育課でしたか、県の財政からも若干おりにていると思います。春と秋でしたか、冬でしたか、ありますよね。今回は講演とかそういうことの計画ですか。</p>
今宿 教育長	<p>私のわかる範囲でお答えさせていただきます。この合同研につきましては、春と夏休みの期間中、それから秋に一度と3回、町内全教職員が一堂に会しての会議としては毎年計画されていますし、今年もそのようにさせていただいています。</p> <p>それから、夏の合同研につきましては、テーマ等出し合いまして、講師の先生に来ていただいて講演ということになります。そのあとまた分科会をするということもございます。今回の第1回については、テーマに分かれて分科会と教職員の顔合わせになるかなと思っております。</p> <p>それから秋の合同研につきましては、今ほどありましたように、県の支援事業、その事業を別に受けているのですけれども、その事業の狙いと合同研の狙いというのはマッチしていますので、県教のフォーラムが年1度あるのに、この合同研の日と重ねまして、授業参観をしていただいたり、各人権担当の先生方に集まっていただいて、各校の取り組み等を報告させていただいて、県の指導を受けるということをしていただいています。</p>
高橋 委員	<p>それに関連しまして、中の分科会はいろいろあると思うのですが、冒頭で教育長がいろいろ研修があつて、A I 絡みの話がございました。私も別のところでそういう事業をしているわけですが、今、小学校の子どもたちは多かれ少なかれ、ロボットとかA I とか、すごく関心を持っています。それに関する民間の塾というのか、そういうものが急速に滋賀県にも入り込んでいます。が、非常にお金がかかるわけですね。</p> <p>これは私が関わっているところで言いますと、私の団体の方では大学と連携でやっているわけですが、ぜひ分科会いろいろ、様々なものがあるだろうと思いますけれど、来年度からいよいよA I のプログラミ</p>



加納 参事	<p>ングが本格的になります。プログラミングというと、今でも、有識者の中でも、言語の勉強をそんな小さいのにさせるのかとか、そんな質問も受けたりするのですけれども、思考力とかいろいろそういうことを育てるのだと話をさせてもらっていますけれども、ぜひとも、そういう分科会があるかないのかわかりませんが、入れていただくと、またよりできてくるのではないかなと思っております。よろしくお願ひします。</p> <p>2点目ですけれども、話は変わりますが、私もその委員になったのですが、通学合宿の件で、それぞれの地域で通学合宿をされていますが、もともとの日野町が考えておられる通学合宿の狙いは、日野町の、言葉で言うと地域活性化、それが一番の狙いで通学合宿がスタートしたという理解の仕方をしているのですが、今、私の地域で話を聞いていると、それはちょっと置いておいて、少子化になっていますから、子どもたちの交流が第一目になっているように思うのですが、これはもう、所轄は生涯学習課さんですよ。生涯学習課さんの方で各公民館で通学合宿をする狙い云々とかは、自分らで考えてというふうな流れに変わってきているのですか。</p> <p>当初は地域活性化というところで、先進地が取り組まれたのを見ながら始まったと聞いておまして、しかしながら、地域の課題とかそういうものを見ながら、その実行委員会さんがいろいろな形で、地域の活性化以外のことをやりかけたというところから、地域独自のものに少しずつ変わってきて、それを補助金という形で私どもは出させていただいています。</p> <p>特に南比都佐地域の防災合宿、段ボールで囲んだ中で泊るとか、今年は段ボールのベッドで寝るとか、最後の日には地域の人と一緒に、その日を「地域防災の日」にされていて、その日に合同で防災の日を地域の方々として締めくくるといような、防災合宿と通学合宿を合わせた者にも変わってきて、それを見倣って、東桜谷は同じような形態で防災キャンプと通学合宿を一緒にされているという形ですね。</p> <p>西大路は西大路でまた、自分たちで買い物に行って、自分たちで料理してというよな、全然また形が違います。本来の通学合宿の地域活性的な部分も含めた形を継続していただいているところです。</p> <p>こちらからお願いさせてもらったところではございますが、地域の独自性を持ちながら今はやっていただいているということで、そこは思っております。</p>
-------	---

<p>高橋 委員</p>	<p>私も西に住んでいますので、実行委員会に行って聞いたのですが、以前私が聞いていたのとずいぶん変わって来たんだなと思いつつ、各地域でそれぞれ独自の取り組みがあるのかなというような曖昧なことを思っていたのです。聞いてみてなるほどなと思いました。ありがとうございました。よくわかりました。</p> <p>3点目、危機管理の問題ですが、アドベンチャーキャンプ、ご苦労さんでございます。こういう行事があると、私なんかは特に四万十川のことを頭にパッと浮かぶわけですが、下見というのか、アドベンチャーキャンプのために町の一番の大元の、生涯学習課の事業でしたね。</p>
<p>吉澤 課長</p>	<p>町子連の主催、町の子ども会指導者連絡協議会の主催で、事務局は日野町生涯学習課です。</p>
<p>高橋 委員</p>	<p>大元のところの方も含めて、もちろん安全なところだとは百も承知していますけれども、内容も含めて下見はお願いしたいなと思っています。</p>
<p>吉澤 課長</p>	<p>アドベンチャーキャンプのことでご質問をいただきました。確かに甲賀市の方で何年前かに死亡事故があったということで、大変なことであったかなと考えております。先日、日野町でも民泊の中でトラクターの事故があったりというふうなこともございましたので、特に事故については特別の配慮が必要だと考えております。</p> <p>アドベンチャーキャンプについては、事務局は生涯学習課でございますけれども、主催といたしましては日野町子ども会の指導者連絡協議会ということで、そこと教育委員会が連携した中でさせていただいております。職員の中でも連絡協議会の理事にもなっておりますので、その職員などとあわせて、この事業を進めさせていただいているところでございます。</p> <p>既に5月11日に施設の下見にまず行かせていただいております。次に事前研修を先ほどさせていただきましたが、これは参加者の顔合わせということで6月23日にさせていただいております。それから、日がすぐ出てまいりませんが、危機管理の研修ということで、指導者連絡協議会の理事さんだけの危機管理の研修もしていただいておりますし、理事さんも含めた皆さん方で現場の、今回は石川県の能登の少年交流の家</p>

	<p>でございますけれども、そちらへ行きまして、現場の確認、安全管理ということで、その辺を中心に施設の見学もした中で十分な調整をして参加をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>	
高橋 委員	ありがとうございます。	
今宿 教育長	ありがとうございます。そのほか質問はございませんでしょうか。	
	~~~~~	
	<table border="1"><tr><td data-bbox="443 752 660 790">日程7 その他</td></tr></table>	日程7 その他
日程7 その他		
	なし	
	以上で、5月定例会を終了します。	